

立体マスク作り方 (手縫いでもミシンでも)

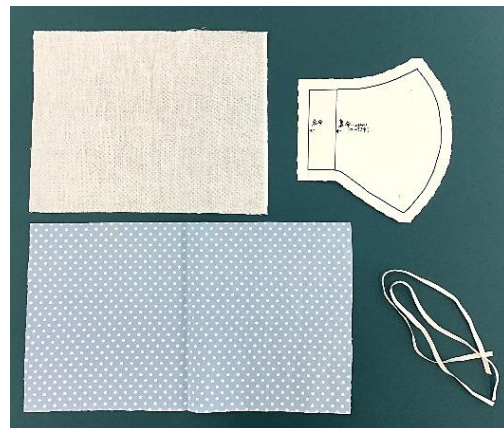


1. 材料を準備します。

- ・**型紙**：別紙の型紙を参考にしてください。(サイズは3種類あります) 表布は、破線が縫いしろ1cm込みの大きさ、直線ができあがりのサイズです。裏布はマスクゴムを通す三つ折りの部分を除いています。

※ここでは、上下のカーブが異なる型紙を用いています。
上下のカーブが同じ型紙も作り方は同じです。

- ・**布地の種類**：今回は、表布はブロード（綿100%）、裏布は「さらし」を使用しています。表布は綿素材のあまり分厚くないものであれば何でもOK。裏布はさらしやダブルガーゼはもちろん、ハンカチなど綿100%のもので。一度簡単に洗うか、水に浸けておいてから用います。



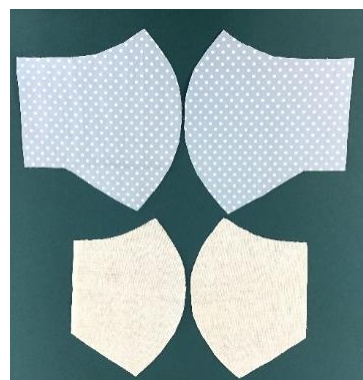
・**必要な材料**：表布 17×31cm の布を 1 枚 裏布 17×23cm の布を 1 枚 マスクゴム 30 cm 程度を 2 本

※ゴムが入手しづらいときは、市販の使い捨てマスクの紐をとっておき、2本を結んで1本のゴムとして使用することもできます。

2. 表布、裏布それぞれの生地を型紙どおりに裁断します。

表布 2 枚、裏布 2 枚必要です。

表布の型紙を直線で折って裏布の型紙としています。



3. それぞれの布 2 枚を「中表」に合わせて、マスクの中央になるカーブの部分を縫いしろ1cmで縫います。(青点線)



4. 3で縫った部分の縫いしろに切り込みを入れます。縫いしろをしっかりと割ってアイロンをかけます。



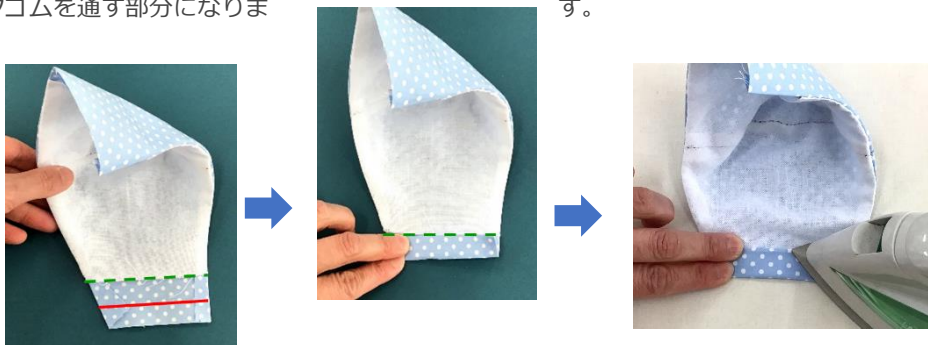
5. 表布と裏布を「中表」にして合わせます。縫いしろを割った状態で中央がずれないように合わせます。上下の端から約1cmのところを縫います（青点線）。



6. 「表」にひっくり返します。縫った部分はしっかり広げてアイロンをかけます。（ミシンの場合は表からステッチをかけてもよいです）



7. 両端の部分を三つ折りにします（赤(実線)→緑(破線)と2回折る）。マスクゴムを通す部分になります。



8. 三つ折りの端を縫います（青点線）。



9. ゴムを通して、結び目を中に入れて完成です。



★市販の不織布の立体マスクを型紙にするなど、自分好みの形にしてみましょう！